

# 平成30年度 財政状況資料集

## 総括表（市町村）

都道府県名	青森県		市町村類型	Ⅱ-〇	指定団体等の指定状況		区分		平成30年度(千円・%)	平成29年度(千円・%)	区分		平成30年度(千円・%)	平成29年度(千円・%)																																																																								
					財政健全化等	×	歳入総額	7,490,823			7,581,735	実質収支比率			2.0	2.2																																																																						
市町村名	深浦町		地方交付税種地	2-1	財源超過	×	歳出総額	7,391,390	7,467,345	経常収支比率	98.0	95.6																																																																										
					首都	×	歳入歳出差引	99,433	114,390	(※1)	(101.7)	(99.3)																																																																										
					近畿	×	翌年度に繰越すべき財源	7,792	12,219	標準財政規模	4,474,732	4,608,990																																																																										
					中部	×	実質収支	91,641	102,171	財政力指数	0.17	0.16																																																																										
人口	27年国調(人)		8,429		産業構造(※5)	単年度収支	-10,530	-101,336	公債費負担比率	24.6	21.5																																																																											
	22年国調(人)		9,691			過疎	○	積立金	1,162	684	健全化判断比率																																																																											
	増減率(%)		-13.0			山振	○	繰上償還金	291,812	0	実質赤字比率	-	-																																																																									
住民基本台帳人口(※7)	31.01.01(人)		8,228		第1次	低開発	×	積立金取崩し額	200,000	210,000	連結実質赤字比率	-	-																																																																									
	うち日本人(人)		8,205			27年国調	920	1,092	実質単年度収支	82,444	-310,652	実質公債費比率	12.7	12.8																																																																								
	30.01.01(人)		8,463		22年国調	25.1	26.8	基準財政収入額	697,578	697,706	資金不足比率(※4)																																																																											
	うち日本人(人)		8,445		第2次	指数表選定	○	基準財政需要額	4,074,184	4,160,950	標準税収入額等	877,503	880,560																																																																									
	増減率(%)		-2.8			27年国調	743	858	経常経費充当一般財源等	4,413,954		4,426,035	歳入一般財源等	5,574,548	5,413,051																																																																							
	うち日本人(%)		-2.8		22年国調	20.3	21.1	地方債現在高	8,678,507	9,143,010		うち公的資金	6,059,333	6,181,909																																																																								
	面積(km <sup>2</sup> )		488.90		第3次	合計	105	321,300	債務負担行為額(支出予定額)	186,154		281,393	収益事業収入	-	-																																																																							
人口密度(人/km <sup>2</sup> )		17		ラスバイレス指数		94.1		土地開発基金現在高	71,969	81,080		財政調整基金	2,024,120	2,162,958																																																																								
世帯数(世帯)		3,304						積立金現在高	98,944	390,710		減債基金	98,944	390,710																																																																								
								その他特定目的基金	1,028,372	1,004,133																																																																												
職員状況																																																																																						
特別職等	区分	定数	1人あたり平均給料月額(百円)	一般職員等(※6)	区分	職員数(人)	給料月額(百円)	1人あたり平均給料月額(百円)																																																																														
	市区町村長	1	7,100	一般職員等(※6)	一般職員	105	321,300	3,060	地方債現在高	8,678,507	9,143,010																																																																											
	副市区町村長	1	5,720		うち消防職員	-	-	-	うち公的資金	6,059,333	6,181,909																																																																											
	教育長	1	5,310		うち技能労務職員	-	-	-	債務負担行為額(支出予定額)	186,154	281,393																																																																											
	議会議員	1	2,660		教育公務員	-	-	-	収益事業収入	-	-																																																																											
	議会副議長	1	2,290		臨時職員	-	-	-	土地開発基金現在高	71,969	81,080																																																																											
	議会議員	10	2,180		合計	105	321,300	3,060	財政調整基金	2,024,120	2,162,958																																																																											
						ラスバイレス指数	94.1			積立金現在高	98,944	390,710																																																																										
									その他特定目的基金	1,028,372	1,004,133																																																																											
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>一般会計等の一覧</th> <th>事業会計の一覧</th> <th>公営企業(法適)の一覧</th> <th>公営企業(法非適)の一覧</th> <th>関係する一部事務組合等</th> <th>地方公社・第三セクター等</th> </tr> <tr> <th>項番</th> <th>会計名</th> <th>項番</th> <th>会計名</th> <th>項番</th> <th>組合等名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(1) 一般会計</td> <td>(2) 国民健康保険事業特別会計(事業勘定)</td> <td>(7) 水道事業会計</td> <td>(8) 下水道事業特別会計</td> <td>(9) 青森県市町村総合事務組合</td> <td>(19) 新深浦町漁業協同組合</td> </tr> <tr> <td></td> <td>(3) 国民健康保険事業特別会計(直診勘定)</td> <td></td> <td></td> <td>(10) 青森県市町村職員退職手当組合</td> <td>(20) 株式会社ふかうら開発</td> </tr> <tr> <td></td> <td>(4) 後期高齢者医療特別会計</td> <td></td> <td></td> <td>(11) 西海岸衛生処理組合</td> <td>(21) しらかみ十二湖株式会社</td> </tr> <tr> <td></td> <td>(5) 介護保険特別会計</td> <td></td> <td></td> <td>(12) 西北五広域福祉事務組合</td> <td>(22) 一般財団法人深浦町食産業振興公社</td> </tr> <tr> <td></td> <td>(6) 訪問看護ステーション特別会計</td> <td></td> <td></td> <td>(13) 青森県交通災害共済組合</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(14) 鯉ヶ沢地区消防事務組合</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(15) つがる西北五広域連合(一般会計)</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(16) つがる西北五広域連合(病院事業会計)</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(17) 青森県後期高齢者医療広域連合(一般会計)</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(18) 青森県後期高齢者医療広域連合(後期高齢者医療特別会計)</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>															一般会計等の一覧	事業会計の一覧	公営企業(法適)の一覧	公営企業(法非適)の一覧	関係する一部事務組合等	地方公社・第三セクター等	項番	会計名	項番	会計名	項番	組合等名	(1) 一般会計	(2) 国民健康保険事業特別会計(事業勘定)	(7) 水道事業会計	(8) 下水道事業特別会計	(9) 青森県市町村総合事務組合	(19) 新深浦町漁業協同組合		(3) 国民健康保険事業特別会計(直診勘定)			(10) 青森県市町村職員退職手当組合	(20) 株式会社ふかうら開発		(4) 後期高齢者医療特別会計			(11) 西海岸衛生処理組合	(21) しらかみ十二湖株式会社		(5) 介護保険特別会計			(12) 西北五広域福祉事務組合	(22) 一般財団法人深浦町食産業振興公社		(6) 訪問看護ステーション特別会計			(13) 青森県交通災害共済組合						(14) 鯉ヶ沢地区消防事務組合						(15) つがる西北五広域連合(一般会計)						(16) つがる西北五広域連合(病院事業会計)						(17) 青森県後期高齢者医療広域連合(一般会計)						(18) 青森県後期高齢者医療広域連合(後期高齢者医療特別会計)	
一般会計等の一覧	事業会計の一覧	公営企業(法適)の一覧	公営企業(法非適)の一覧	関係する一部事務組合等	地方公社・第三セクター等																																																																																	
項番	会計名	項番	会計名	項番	組合等名																																																																																	
(1) 一般会計	(2) 国民健康保険事業特別会計(事業勘定)	(7) 水道事業会計	(8) 下水道事業特別会計	(9) 青森県市町村総合事務組合	(19) 新深浦町漁業協同組合																																																																																	
	(3) 国民健康保険事業特別会計(直診勘定)			(10) 青森県市町村職員退職手当組合	(20) 株式会社ふかうら開発																																																																																	
	(4) 後期高齢者医療特別会計			(11) 西海岸衛生処理組合	(21) しらかみ十二湖株式会社																																																																																	
	(5) 介護保険特別会計			(12) 西北五広域福祉事務組合	(22) 一般財団法人深浦町食産業振興公社																																																																																	
	(6) 訪問看護ステーション特別会計			(13) 青森県交通災害共済組合																																																																																		
				(14) 鯉ヶ沢地区消防事務組合																																																																																		
				(15) つがる西北五広域連合(一般会計)																																																																																		
				(16) つがる西北五広域連合(病院事業会計)																																																																																		
				(17) 青森県後期高齢者医療広域連合(一般会計)																																																																																		
				(18) 青森県後期高齢者医療広域連合(後期高齢者医療特別会計)																																																																																		

(注釈) ※1: 経常収支比率の( )内の数値は、「減収補填債(特例分)」及び「臨時財政対策債」を除いて算出したものである。  
 ※2: 各会計の一覧は主な会計(10会計まで)を記載している。  
 ※3: 地方公共団体が損失補填等を行っている出資法人で、健全化法の算出対象となっている団体については、「地方公社・第三セクター等」の団体名に○印を付与している。  
 ※4: 資金不足比率欄には、資金が不足している会計のみ記載している。  
 ※5: 産業構造の比率は、分母を就業人口総数とし、分類不能の産業を除いて算出。  
 ※6: 個人情報保護の観点から、対象となる職員数が1人又は2人の場合は、「給料月額(百円)」と「1人あたり給料月額(百円)」を「アスタリスク(\*)」としている。(その他、数値のない欄については、すべてハイフン(-)としている)。  
 ※7: 人口については、調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。

(1) 普通会計の状況 (市町村)

歳入の状況 (単位 千円・%)				地方税の状況 (単位 千円・%)				歳出の状況 (単位 千円・%)							
区分	決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分	収入済額	構成比	超過課税分	目的別歳出の状況 (単位 千円・%)						
									区分	決算額 (A)	構成比	(A)のうち普通建設事業費	(A)のうち充当一般財源等		
地方税	679,649	9.1	679,649	15.7	普通税	668,682	98.4	-	議会費	81,082	1.1	-	81,082		
地方譲与税	44,834	0.6	44,834	1.0	法定普通税	668,682	98.4	-	総務費	1,107,741	15.0	135,178	960,464		
利子割交付金	759	0.0	759	0.0	市町村民税	197,339	29.0	-	民生費	1,493,027	20.2	41,500	829,765		
配当割交付金	712	0.0	712	0.0	個人均等割	10,859	1.6	-	衛生費	960,738	13.0	310,638	615,170		
株式等譲渡所得割交付金	567	0.0	567	0.0	所得割	160,625	23.6	-	労働費	7,210	0.1	-	7,210		
分離課税所得割交付金	-	-	-	-	法人均等割	13,196	1.9	-	農林水産業費	770,162	10.4	421,065	247,855		
道府県民税所得割臨時交付金	-	-	-	-	法人税割	12,659	1.9	-	商工費	249,351	3.4	26,291	232,081		
地方消費税交付金	153,039	2.0	153,039	3.5	固定資産税	400,369	58.9	-	土木費	376,017	5.1	83,257	304,834		
ゴルフ場利用税交付金	-	-	-	-	うち純固定資産税	347,163	51.1	-	消防費	476,378	6.4	41,070	435,353		
特別地方消費税交付金	-	-	-	-	軽自動車税	24,663	3.6	-	教育費	480,056	6.5	38,590	379,599		
自動車取得税交付金	10,986	0.1	10,986	0.3	市町村たばこ税	46,311	6.8	-	災害復旧費	14,440	0.2	-	12,887		
軽油引取税交付金	-	-	-	-	釧産税	-	-	-	公債費	1,375,188	18.6	-	1,369,055		
地方特例交付金	1,286	0.0	1,286	0.0	特別土地保有税	-	-	-	諸支金	-	-	-	-		
地方交付税	3,867,246	51.6	3,432,629	79.1	法定外普通税	-	-	-	前年度繰上充用金	-	-	-	-		
普通交付税	3,432,629	45.8	3,432,629	79.1	目的税	10,967	1.6	-	歳出合計	7,391,390	100.0	1,097,589	5,475,115		
特別交付税	434,617	5.8	-	-	法定目的税	10,967	1.6	-	性質別歳出の状況 (単位 千円・%)						
震災復興特別交付税	-	-	-	-	入湯税	10,967	1.6	-	区分	決算額	構成比	充当一般財源等	経常経費充当一般財源等	経常収支比率	
(一般財源計)	4,759,078	63.5	4,324,461	99.7	事業所税	-	-	-	義務的経費計	3,006,637	40.7	2,501,935	2,205,614	49.0	
交通安全対策特別交付金	762	0.0	762	0.0	都市計画税	-	-	-	人件費	938,217	12.7	924,425	920,016	20.4	
分担金・負担金	28,204	0.4	-	-	水利地益税等	-	-	-	うち職員給	592,303	8.0	584,149	-	-	
使用料	8,263	0.1	4,489	0.1	法定外目的税	-	-	-	扶助費	693,232	9.4	208,455	208,355	4.6	
手数料	11,315	0.2	-	-	旧法による税	-	-	-	公債費	1,375,188	18.6	1,369,055	1,077,243	23.9	
国庫支出金	465,894	6.2	-	-	合計	679,649	100.0	-	元利償還金	1,374,792	18.6	1,368,659	1,076,847	23.9	
国有提供交付金(特別区財調交付金)	-	-	-	-	区分	平成30年度	平成29年度		内 訳	うち元金	1,317,203	17.8	1,311,162	1,019,350	22.6
都道府県支出金	572,767	7.6	-	-	徴収率	99.0	95.5	99.0	95.4	うち利子	57,589	0.8	57,497	57,497	1.3
財産収入	14,701	0.2	8,856	0.2	(%)	99.4	98.8	99.4	98.9	一時借入金利子	396	0.0	396	396	0.0
寄附金	39,694	0.5	-	-	市町村民税	99.4	98.8	99.4	98.9	その他の経費	3,272,724	44.3	2,781,719	2,208,340	49.0
繰入金	576,123	7.7	-	-	純固定資産税	98.4	92.3	98.5	92.2	物件費	1,056,911	14.3	799,699	465,285	10.3
繰越金	54,390	0.7	-	-	公営事業等への繰出	1,046,254	-	28,921	-	維持補修費	225,885	3.1	216,545	199,288	4.4
諸収入	106,932	1.4	9	0.0	合計	194,592	-	28,921	-	補助費等	1,090,162	14.7	965,912	955,807	21.2
地方債	852,700	11.4	-	-	上水道	120,665	-	1,652	-	うち一部事務組合負担金	568,812	7.7	568,812	568,500	12.6
うち減収補填債(特例分)	-	-	-	-	下水道	55,863	-	2,715	-	繰入金	795,799	10.8	700,401	587,960	13.1
うち臨時財政対策債	164,600	2.2	-	-	病院	-	-	84	-	積立金	98,590	1.3	98,106	-	-
歳入合計	7,490,823	100.0	4,338,577	100.0	工業用水道	-	-	-	-	投資・出資金・貸付金	5,377	0.1	1,056	-	-
					国民健康保険	252,787	-	-	-	前年度繰上充用金	-	-	-	-	
					その他	422,347	-	301	-	投資的経費計	1,112,029	15.0	191,461	-	-
										うち人件費	10,948	0.1	10,948	-	-
										普通建設事業費	1,097,589	14.8	178,574	-	-
										うち補助	404,782	5.5	14,028	-	-
										うち単独	558,071	7.6	153,903	-	-
										災害復旧事業費	14,440	0.2	12,887	-	-
										失業対策事業費	-	-	-	-	-
										歳出合計	7,391,390	100.0	5,475,115	-	-

(注釈)  
 普通建設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、  
 単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。

(2)各会計、関係団体の財政状況及び健全化判断比率（市町村）

平成30年度 青森県深浦町

一般会計等の財政状況(単位:百万円)

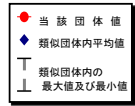
会計名	歳入	歳出	形式収支	実質収支	他会計等からの繰入金	地方債現在高	備考
1 一般会計	7,491	7,391	99	92	574	8,679	
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
41							
42							
43							
44							
45							
46							
47							
48							
49							
50							
51							
52							
53							
54							
55							
56							
57							
58							
59							
60							
61							
62							
63							
64							
65							
66							
67							
68							
69							
70							
71							
72							
73							
74							
75							
76							
77							
78							
79							
80							
81							
82							
83							
84							
85							
86							
87							
88							
89							
90							
91							
92							
93							
94							
95							
96							
97							
98							
99							
100							
101							
102							
103							
104							
105							
106							
107							
108							
109							
110							
111							
112							
113							
114							
115							
116							
117							
118							
119							
120							
121							
122							
123							
124							
125							
126							
127							
128							
129							
130							
131							
132							
133							
134							
135							
136							
137							
138							
139							
140							
141							
142							
143							
144							
145							
146							
147							
148							
149							
150							
151							
152							
153							
154							
155							
156							
157							
158							
159							
160							
161							
162							
163							
164							
165							
166							
167							
168							
169							
170							
171							
172							
173							
174							
175							
176							
177							
178							
179							
180							
181							
182							
183							
184							
185							
186							
187							
188							
189							
190							
191							
192							
193							
194							
195							
196							
197							
198							
199							
200							
201							
202							
203							
204							
205							
206							
207							
208							
209							
210							
211							
212							
213							
214							
215							
216							
217							
218							
219							
220							
221							
222							
223							
224							
225							
226							
227							
228							
229							
230							
231							
232							
233							
234							
235							
236							
237							
238							
239							
240							
241							
242							
243							
244							
245							
246							
247							
248							
249							
250							
251							
252							
253							
254							
255							
256							
257							
258							
259							
260							
261							
262							
263							
264							
265							
266							
267							
268							
269							
270							
271							
272							
273							
274							
275							
276							
277							
278							
279							
280							
281							
282							
283							
284							
285							
286							
287							
288							
289							
290							
291							
292							
293							
294							
295							
296							
297							
298							

### (3) 市町村財政比較分析表(普通会計決算)

平成30年度

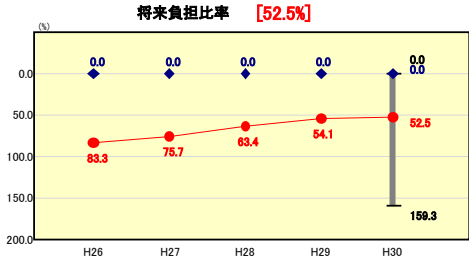
青森県深浦町

人口	8,228	人(H31.1.1現在)		実質赤字比率	-	%
うち日本人	8,205	人(H31.1.1現在)		連結実質赤字比率	-	%
面積	488.90	km <sup>2</sup>		実質公債費比率	12.7	%
歳入総額	7,490,823	千円		将来負担比率	52.5	%
歳出総額	7,391,990	千円		市町村類型	H26 II-O H27 II-O H28 II-O	
実質収支	91,641	千円		(年度毎)	H29 II-O H30 II-O	
標準財政規模	4,474,732	千円				
地方債現在高	8,678,507	千円				



※市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。  
 ※平成31年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率及び将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。  
 ※充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記しない。  
 ※「人件費・物件費等の状況」の決算額は、人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。  
 ※人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。  
 ※類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成30年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。

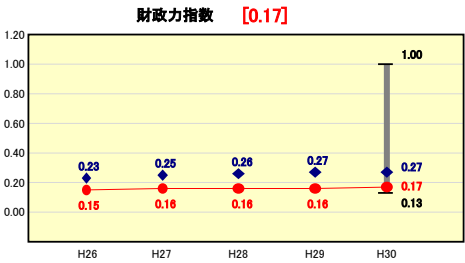
#### 将来負担の状況



類似団体内順位 82/96 全国平均 28.9 青森県平均 68.2

**将来負担比率の分析欄**  
 将来負担比率は早期健全化基準(350%)を下回っているものの、類似団体内平均値及び全国平均と比較すると高い将来負担となっている。主な要因は一般会計等の地方債残高が多額なことであるが、プライマリーバランスの大幅な黒字化と繰上償還の実施により、その残高は年々減少を続けている。また、充当可能基金残高も毎年増加を続け、将来負担全体としては年々着実に軽減されている。さらなる改善に向けて、プライマリーバランスの黒字堅持と積極的な基金積立てを継続するほか、町債の繰上償還も随時検討する。

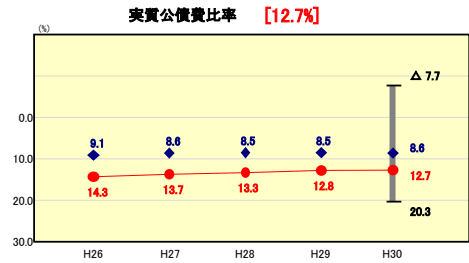
#### 財政力



類似団体内順位 80/96 全国平均 0.51 青森県平均 0.34

**財政力指数の分析欄**  
 人口減少や住民の高齢化に加え、産業基盤の脆弱であることが要因となり、町税収は長らく低い水準で停滞し、類似団体と比較して極めて低い財政力となっている。6次産業の創出を柱に町内産業の活性化を図るとともに、税の徴収率向上にも努め、長期的・計画的な財政基盤の強化に取り組む。

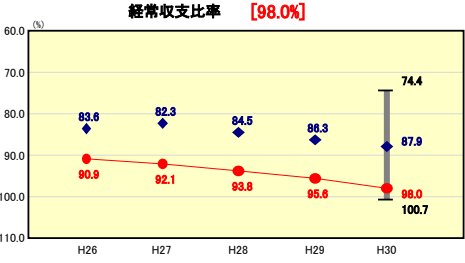
#### 公債費負担の状況



類似団体内順位 86/96 全国平均 6.1 青森県平均 11.3

**実質公債費比率の分析欄**  
 実質公債費比率は早期健全化基準(25%)や起債許可基準(18%)を下回っているものの、類似団体内平均値及び全国平均と比較すると高い公債費負担となっている。主な要因は一般会計等の元利償還金が多額なことであるが、町債の新規発行抑制や繰上償還などの公債費対策により、その元利償還金は年々減少を続けている。一方で、公営企業や組合等の元利償還金が増加傾向にあるが、総体的には公債費負担が年々着実に軽減されている。今後も多額の起債発行には慎重な検討を行い、交付税措置の有利な起債を優先するなど将来的な公債費負担の圧縮に努める。

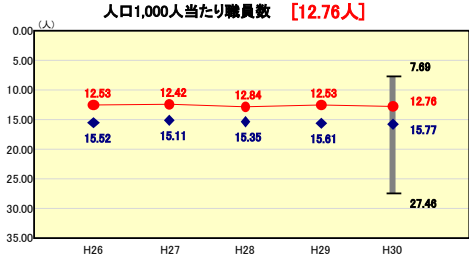
#### 財政構造の弾力性



類似団体内順位 94/96 全国平均 93.0 青森県平均 92.7

**経常収支比率の分析欄**  
 合併算定替えの終了が影響し、経常一般財源の大部分を占める普通交付税の額が減少することから、年々比率が悪化していくことが予想されるが、急激な増収等の増は見込めないため、経常経費の削減が当面の課題となる。主な取り組みとしては、人件費、物件費、補助費等の歳出削減の取り組みを継続して行うことに加え、必要な建設事業を峻別して実施するなど、公債費負担の抑制に向けた取り組みを行い、経常収支比率の改善に努める。

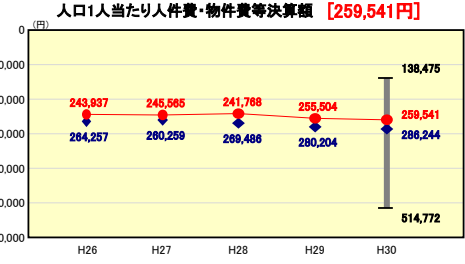
#### 定員管理の状況



類似団体内順位 24/96 全国平均 7.95 青森県平均 8.99

**人口1,000人当たり職員数の分析欄**  
 平成17年度末の町村合併により一時的に職員数が増加したが、深浦町定員適正化計画等に基づき、退職者不補充や採用者数の抑制といった職員数の削減策、事務事業の見直し、民間委託等の推進など、人件費の抑制を図る取り組みを行い、類似団体を下回る状況を維持している。今後も行政サービスの低下を招かぬよう必要最低限の職員数を確保しながらも、組織構造の改善や職員の資質向上・能力開発に資する取り組みを行い、効率的・効果的な執行体制を確保していく。

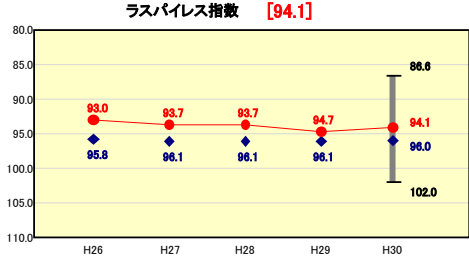
#### 人件費・物件費等の状況



類似団体内順位 33/96 全国平均 132,793 青森県平均 129,656

**人口1人当たり人件費・物件費等決算額の分析欄**  
 定員適正化計画に基づき職員数の削減や、物件費などの事務経費の削減等により、類似団体平均をわずかに下回っている。今後も定員適正化を積極的に進めるとともに、行政改革大綱等に基づく物件費・維持補修費の経費削減に努める。

#### 給与水準 (国との比較)



類似団体内順位 18/96 全国市平均 98.9 全国町村平均 96.3

**ラスパイレース指数の分析欄**  
 従来からの給与体系により類似団体平均を下回るラスパイレース指数となっている。今後は、人事評価による昇給や中級採用の導入により数値が上昇すると見込まれているが、地方交付税の減少などの財政運営上の課題に対応できるよう適切な定員管理を進めるとともに、給与水準の適正化に努める。

# (4)-1 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

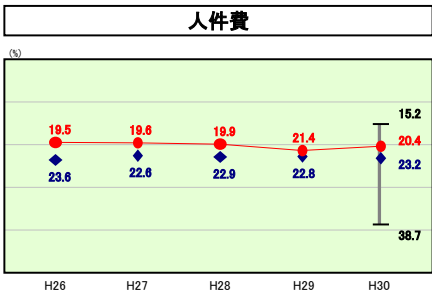
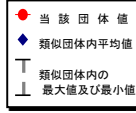
平成30年度

青森県深浦町

## 経常収支比率の分析

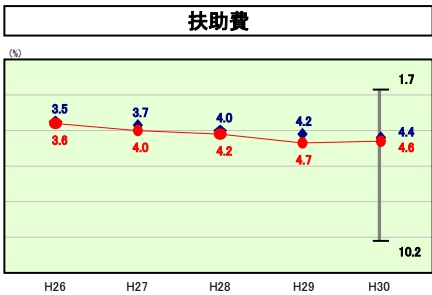
人口	8,228	人(H31.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	8,205	人(H31.1.1現在)	連結実質赤字比率	-	%
面積	488.90	km <sup>2</sup>	実質公債費比率	12.7	%
歳入総額	7,490,823	千円	将来負担比率	52.5	%
歳出総額	7,391,390	千円			
実質収支	91,641	千円	市町村類型	H26 II-O H27 II-O H28 II-O	
標準財政規模	4,474,732	千円	(年度毎)	H29 II-O H30 II-O	
地方債現在高	8,678,507	千円			

※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。  
 ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。  
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成30年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



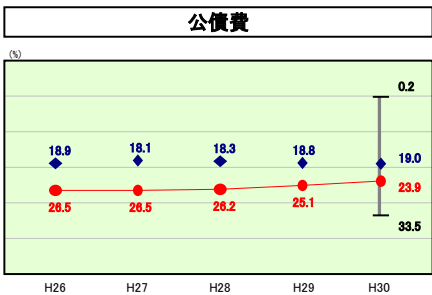
**類似団体内順位** 20/96 **全国平均** 25.6 **青森県平均** 18.9

**人件費の分析欄**  
 定員適正化計画等に基づき職員数の削減を進めた結果、類似団体平均と比較して低い水準にあるものの、現在は下げ止まりしている状況にある。比率が好転しているが、固定経費として将来に渡り負担を伴う人件費の更なる削減に向けた取り組みが必要である。  
 今後においては、組織構造の改善や職員の資質向上・能力開発に資する取り組みを積極的に行うことにより、効率的・効果的な執行体制にシフトしていく方針である。



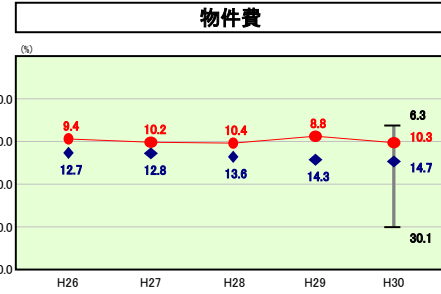
**類似団体内順位** 60/96 **全国平均** 12.6 **青森県平均** 11.4

**扶助費の分析欄**  
 比率は類似団体平均と同程度となっているが、今後は政策的に子育て支援の充実を図っていく方針であることから、児童福祉費を中心に扶助費の増加が見込まれる。  
 義務的性格の弱い町単独扶助費の見直しや各種手当の算定方法・資格審査等の適正化を行い、扶助費による財政圧迫の食い止めを図る必要がある。



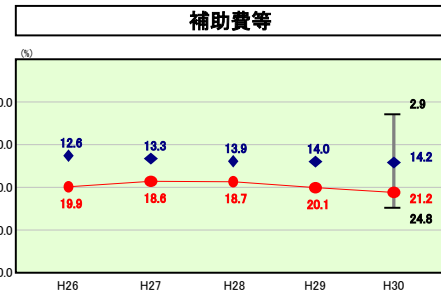
**類似団体内順位** 88/96 **全国平均** 16.6 **青森県平均** 18.7

**公債費の分析欄**  
 過去に実施した大型建設事業に伴う町債発行により、公債費に係る経常収支比率は類似団体と比較して高い状態が続いている。計画的な償還と町債の発行抑制により、比率は徐々に改善しているものの、依然として全国最低クラスの状態は続いている。  
 今後においても、公債費対策を優先課題と位置付け、プライマリーバランスの黒字を堅持するために建設事業を峻別して実施するなど、公債費負担の軽減に取り組んでいく。



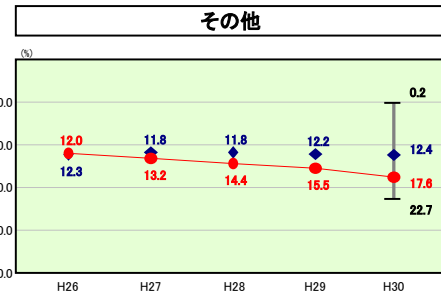
**類似団体内順位** 10/96 **全国平均** 14.7 **青森県平均** 13.2

**物件費の分析欄**  
 事務的経費の削減や各種委託業務の職員対応などにより、類似団体平均を下回る状況になっている。  
 今後においても一層事務事業の整理や組織の合理化を進め、物件費の削減に努める。



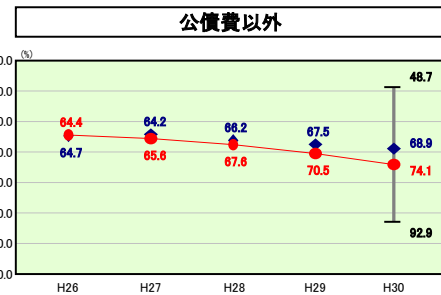
**類似団体内順位** 94/96 **全国平均** 10.2 **青森県平均** 14.5

**補助費等の分析欄**  
 髙ヶ沢地区消防事務組合やつがる西北五広域連合などの一部事務組合に対する負担が大きいことが要因となり、類似団体平均を大きく上回っている。  
 今後も町単独補助金を中心に対象事業の必要性を十分検討し、同種事業の整理統合を行うなど補助金の削減に努める。



**類似団体内順位** 87/96 **全国平均** 13.3 **青森県平均** 16.0

**その他の分析欄**  
 道路、観光施設に係る維持補修費や国保事業勘定特別会計等に対する繰入金が高止まりしていることが要因となり、類似団体より高い状況になっている。  
 普通交付税等の一般財源が今後確実に減少していくことを踏まえ、公共施設マネジメントの推進や国民健康保険料の適正化を行うなど、持続可能な歳出構造の確立に向けた取り組みを行い、経費削減を図る。



**類似団体内順位** 76/96 **全国平均** 76.4 **青森県平均** 74.0

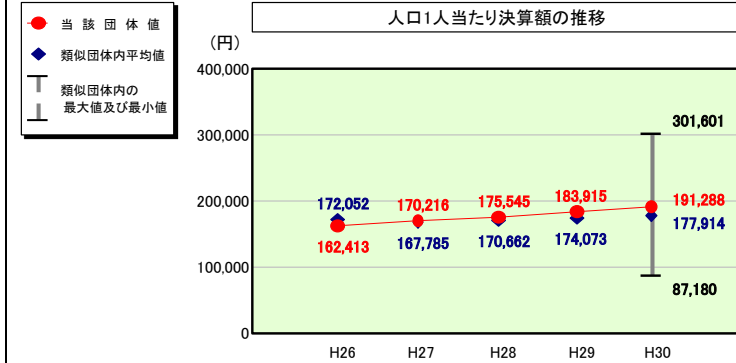
**公債費以外の分析欄**  
 公債費以外の経常収支比率については、維持補修費や繰入金が高止まりしていることに加え、人件費や補助費等が増加していることが要因となり、類似団体と比較して比率が高い状況になっている。  
 公債費の縮減と併せて、公債費以外の経常経費についても削減を継続し、比率改善に努める。

# (4)-2 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

平成30年度

青森県深浦町

## 人件費及び人件費に準ずる費用の分析



### 人件費及び人件費に準ずる費用

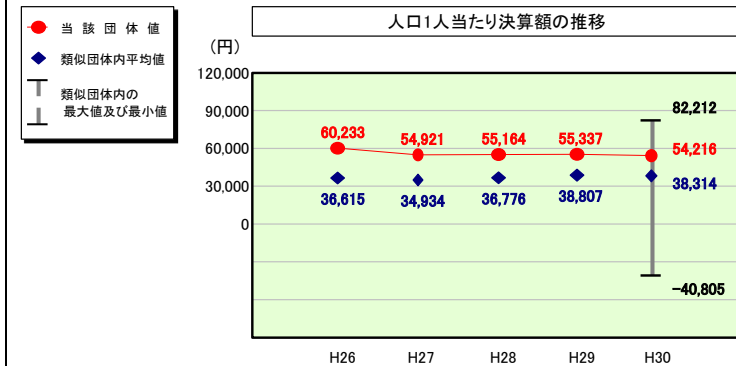
	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体 (円)	類似団体平均 (円)	対比 (%)
人件費	938,217	114,027	137,457	▲ 17.0
賃金(物件費)	114,524	13,919	16,552	▲ 15.9
一部事務組合負担金(補助費等)	412,792	50,169	23,820	▲ 110.6
公営企業(法適)等に対する繰出し(補助費等)	8,136	989	3,889	▲ 74.6
公営企業(法適)等に対する繰出し(投資及び出資金・貸付金)	-	-	-	-
公営企業(法非適)等に対する繰出し(繰出金)	185,758	22,576	6,581	243.0
事業費支弁に係る職員の人件費(投資的経費)	10,948	1,331	3,467	▲ 61.6
▲退職金	▲ 96,460	▲ 11,723	▲ 13,853	▲ 15.4
合計	1,573,915	191,288	177,914	7.5

### 参考

	当該団体	類似団体平均	対比(差引)
人口1,000人当たり職員数(人)	12.76	15.77	▲ 3.01
ラスパイレス指数	94.1	96.0	▲ 1.9

(注) 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。

## 公債費及び公債費に準ずる費用の分析

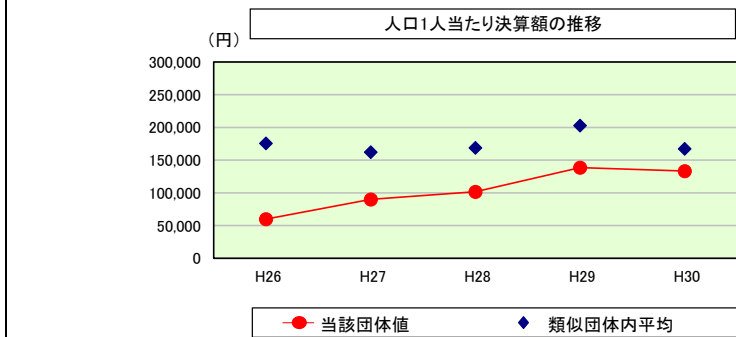


### 公債費及び公債費に準ずる費用(実質公債費比率の構成要素)

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体 (円)	類似団体平均 (円)	対比 (%)
元利償還金の額 (繰上償還額等を除く)	1,082,980	131,621	107,318	22.6
積立不足額を考慮して算定した額	-	-	192	-
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの (年度割相当額)	-	-	281	-
公営企業に要する経費の財源とする地方債の償還の財源に 充てたと認められる繰入金	265,344	32,249	22,732	41.9
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる 補助金又は負担金	30,656	3,726	3,735	▲ 0.2
公債費に準ずる債務負担行為に係るもの	370	45	1,596	▲ 97.2
一時借入金利息 (同一団体における会計間の現金運用に係る利子は除く)	396	48	19	152.6
▲特定財源の額	▲ 6,133	▲ 745	▲ 5,126	▲ 85.5
▲地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として 普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	▲ 927,525	▲ 112,728	▲ 92,432	22.0
合計	446,088	54,216	38,314	41.5

※平成31年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

## (参考) 普通建設事業費の分析



### 普通建設事業費

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額				
		当該団体(円)	増減率(%) (A)	類似団体平均(円)	増減率(%) (B)	(A)-(B)
H26	549,642	59,906	▲ 29.2	175,675	0.6	▲ 29.8
うち単独分	306,192	33,372	▲ 45.5	87,698	10.0	▲ 55.5
H27	803,601	89,939	50.1	162,193	▲ 7.7	57.8
うち単独分	313,379	35,073	5.1	79,985	▲ 8.8	13.9
H28	886,902	101,662	13.0	168,868	4.1	8.9
うち単独分	520,885	59,707	70.2	79,360	▲ 0.8	71.0
H29	1,172,935	138,596	36.3	202,870	20.1	16.2
うち単独分	698,737	82,564	38.3	79,735	0.5	37.8
H30	1,097,589	133,397	▲ 3.8	167,497	▲ 17.4	13.6
うち単独分	558,071	67,826	▲ 17.9	82,571	3.6	▲ 21.5
過去5年間平均	902,134	104,700	13.3	175,421	▲ 0.1	13.4
うち単独分	479,453	55,708	10.0	81,870	0.9	9.1



# (5)市町村性質別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

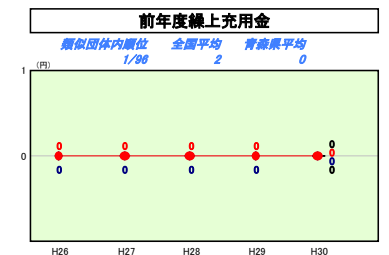
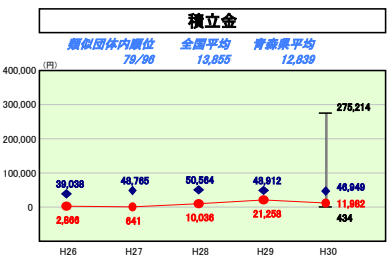
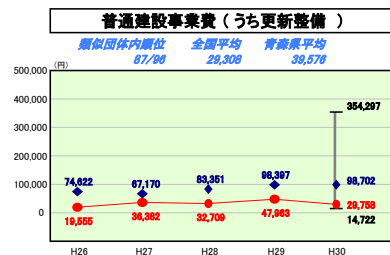
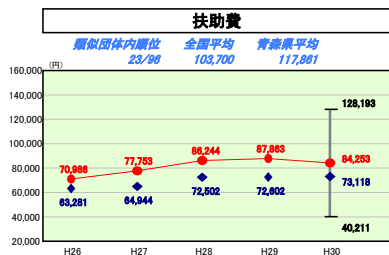
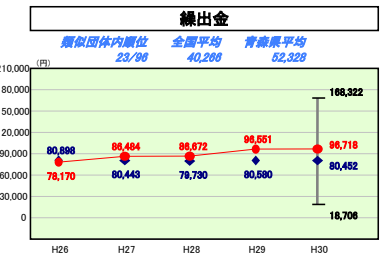
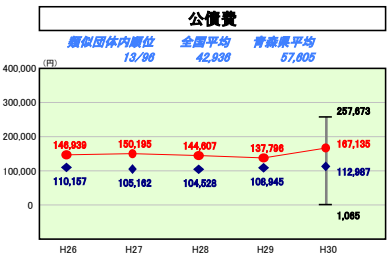
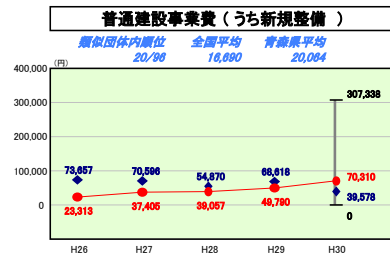
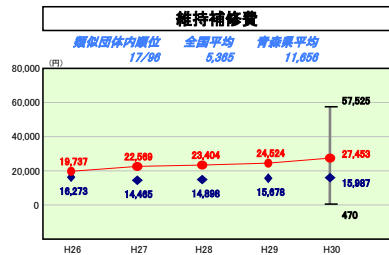
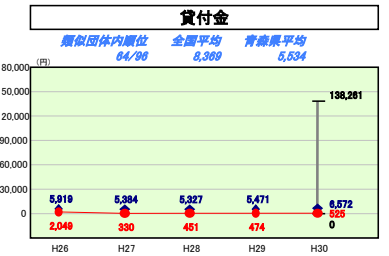
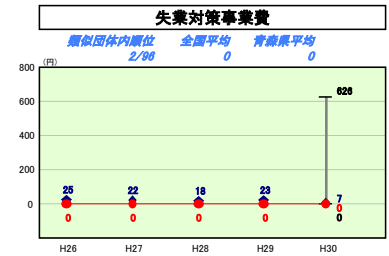
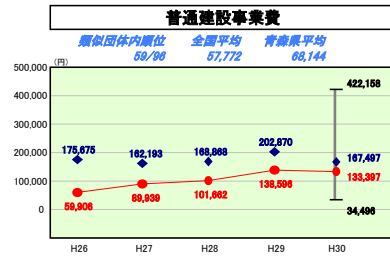
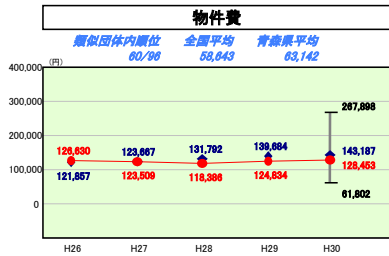
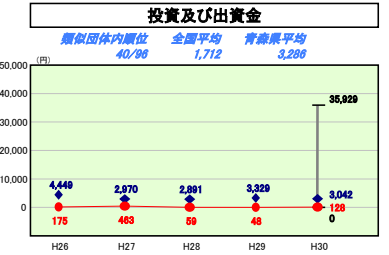
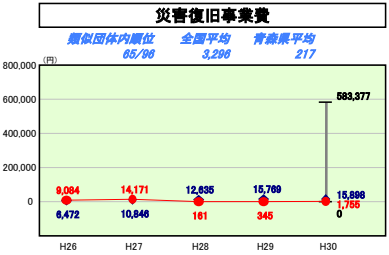
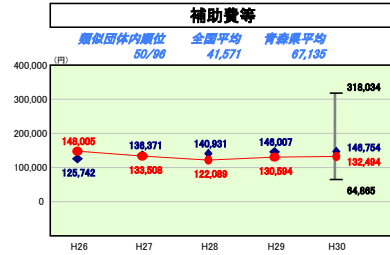
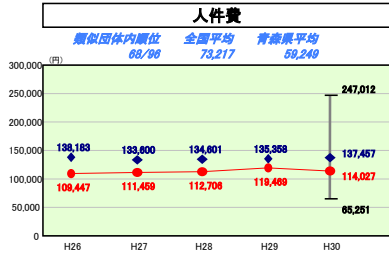
平成30年度

青森県深浦町

人口	8,228人(831.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	8,206人(831.1.1現在)	通算実質赤字比率	-	%
面積	488.90km <sup>2</sup>	実質公債負担比率	12.7	%
歳入総額	7,490,823千円	将来負担比率	52.5	%
歳出総額	7,391,390千円	市町村類型	H26 II-O H27 II-O H28 II-O	
実質収支	91,641千円	(年度毎)	H29 II-O H30 II-O	
標準財政規模	4,474,732千円			
地方債現在高	8,678,507千円			



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。  
 ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。  
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成30年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



#### 性質別歳出の分析値

- 平成30年度の歳出総額は7,391,390千円となっており、住民一人当たりのコストは898,322円となっている。
- 構成項目別に見ると、公債費、扶助費、維持補修費において、類似団体平均より高くなっている。
- 公債費の住民一人当たりのコストは167,135円(構成比18.6%)となっており、過去の大型建設事業実施に伴う多額の町債発行が要因となり、類似団体と比較して54,148円(47.9%)高い状況となっている。今後も公債費対策を優先課題と位置付け、地理的にインフラ投資が進む深浦町固有のハンディキャップを反映した将来コストの試算を確的に行う上で、起債を伴う新たな建設事業の実施検討を十分に行い、公債負担の軽減・抑制を図っていく。
- 扶助費の住民一人当たりのコストは84,253円(構成比9.4%)となっており、保育・幼児教育に係る施設型給付費等が多額であることなどが要因となり、類似団体と比較して11,135円(15.2%)高い状況となっている。今後も政策的に人口減少対策に向けて子育て支援の充実を図っていくことから、児童福祉費を中心に扶助費が増加することが見込まれる。
- 維持補修費の住民一人当たりのコストは27,483円(構成比3.1%)となっており、道路補修費や町有施設の老朽化対応経費が高くなっていることなどが要因となり、類似団体と比較して11,466円(71.7%)高い状況となっている。今後は深浦町公共施設等総合管理計画に基づき、持続可能な公共施設の管理運営を行い、維持補修費の圧縮に努める。

# (6)市町村目的別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

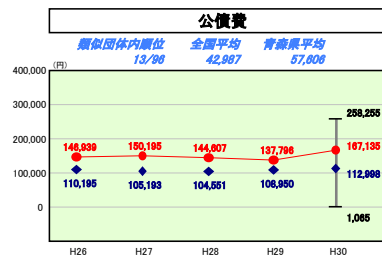
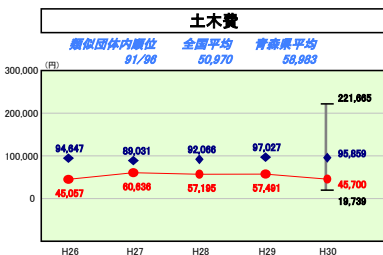
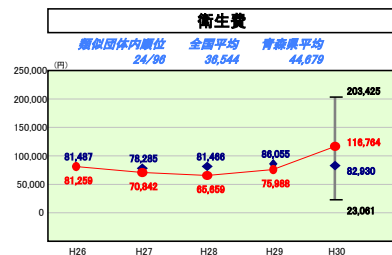
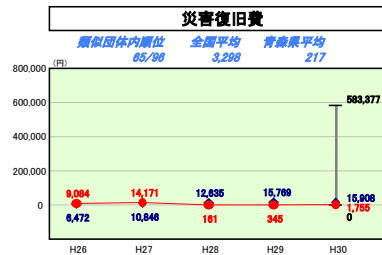
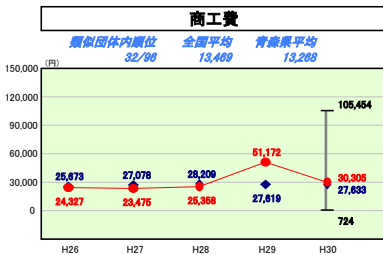
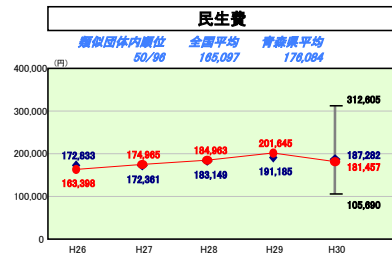
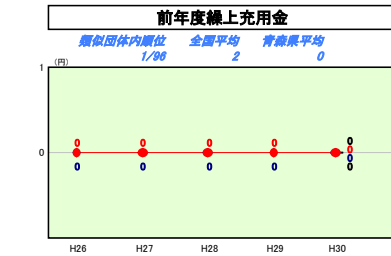
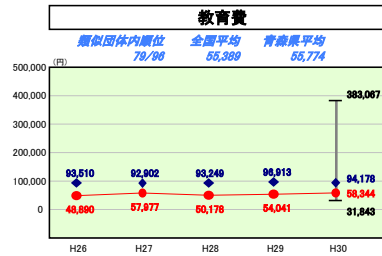
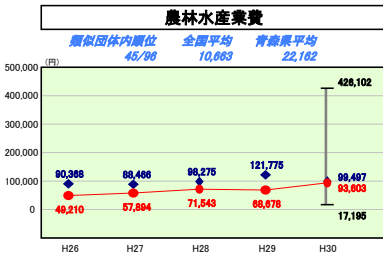
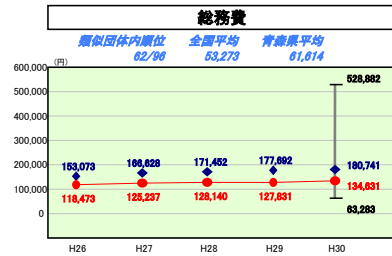
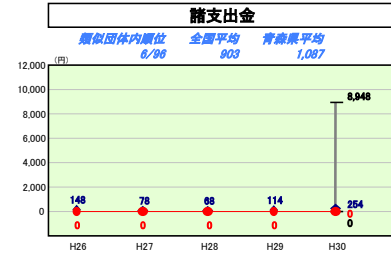
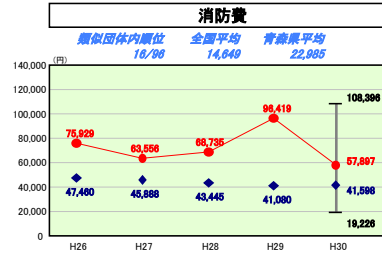
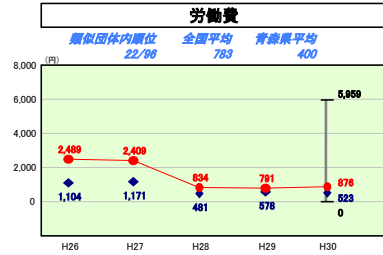
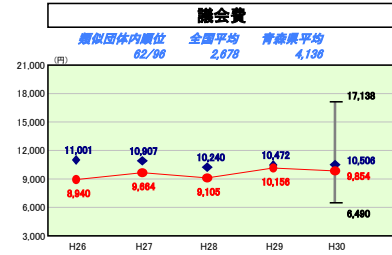
平成30年度

青森県深浦町

人口	8,228人(981.1.1現在)	実収赤字比率	-	%
うち日本人	8,205人(981.1.1現在)	運前実収赤字比率	-	%
面積	488.90k㎡	実収公債費比率	12.7	%
歳入総額	7,490,823千円	将来負担比率	52.5	%
歳出総額	7,391,390千円	市町村間選	H26 II-O H27 II-O H28 II-O	
実収収支	91,641千円	(年度毎)	H29 II-O H30 II-O	
標準財政規模	4,474,732千円			
地方債現在高	8,678,507千円			

● 当該団体値  
◆ 類似団体内平均値  
  類似団体内の最大値及び最小値

※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。  
 ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。  
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成30年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



**目的別歳出の分析値**

- 平成30年度の歳出総額は7,391,390千円となっており、住民一人当たりのコストは898,322円となっている。
- 構成項目別に見ると、消防費、衛生費、公債費において、類似団体平均より高くなっている。
- 消防費の住民一人当たりのコストは57,897円(構成比6.4%)となっており、髷ヶ沢地区消防事務組合負担金や防災施設整備費が多額であることが要因となり、類似団体と比較して16,299円(39.1%)高い状況となっている。平成27年度青森県地震・津波被害想定調査の結果を踏まえ、ソフト・ハード両面において、地震・津波災害に係る防災・減災対策を積極的に行っていく方針であることから、当面はコスト高のまま推移することが見込まれる。
- 衛生費の住民一人当たりのコストは116,764円(構成比13.0%)となっており、総合保健施設整備事業費が多額であることが要因となり、類似団体と比較して33,834円(40.8%)高い状況となっている。
- 公債費については、性質別歳出決算分析表の分析欄と同様である。

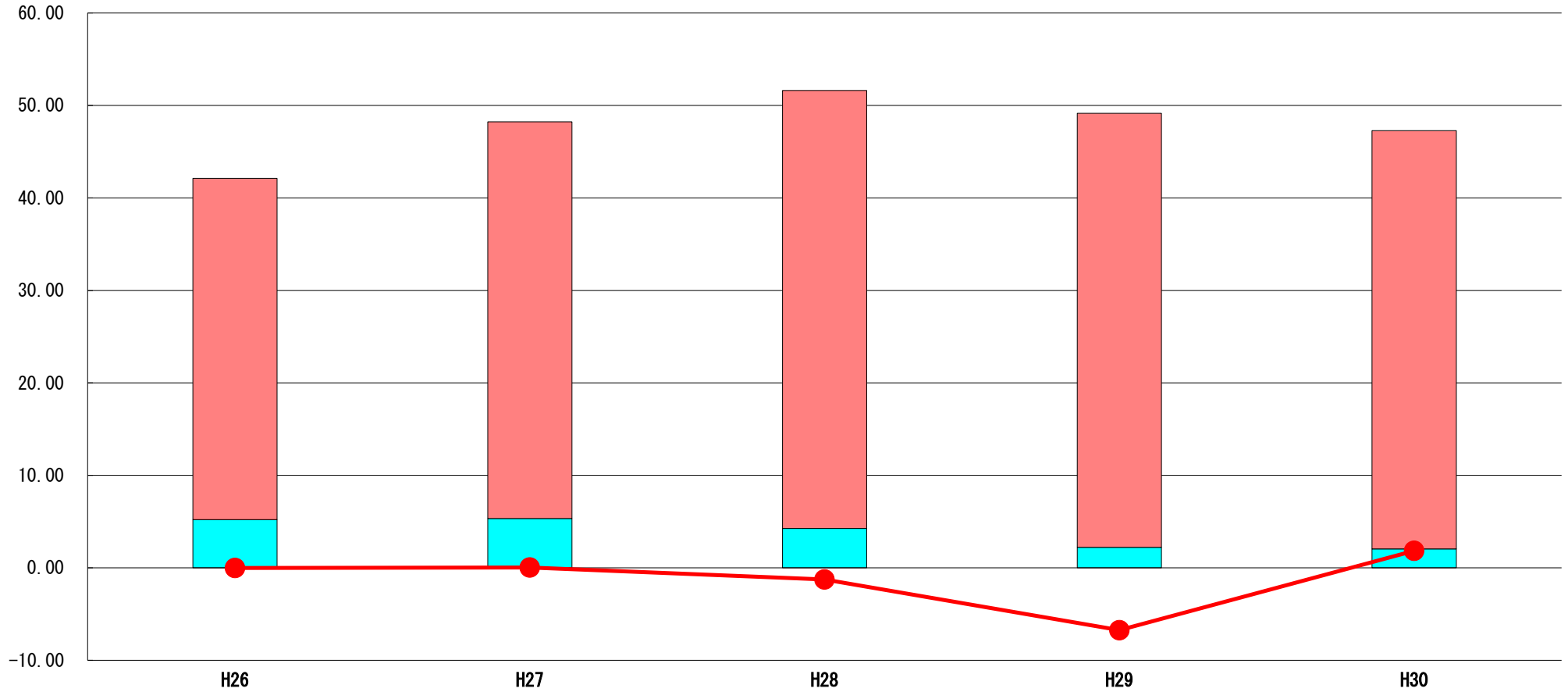


# (7) 実質収支比率等に係る経年分析（市町村）

平成30年度

青森県深浦町

標準財政規模比（%）



標準財政規模比（%）

区分	年度	H26	H27	H28	H29	H30
財政調整基金残高		36.90	42.90	47.36	46.93	45.23
実質収支額		5.21	5.34	4.26	2.22	2.05
実質単年度収支		▲ 0.01	0.03	▲ 1.26	▲ 6.74	1.84

**分析欄**

平成30年度決算においては、地方交付税における合併算定替の段階的縮減に伴う財源不足を財政調整基金の取崩しにより補てんしたことにより、実質収支は92百万円の黒字となった。

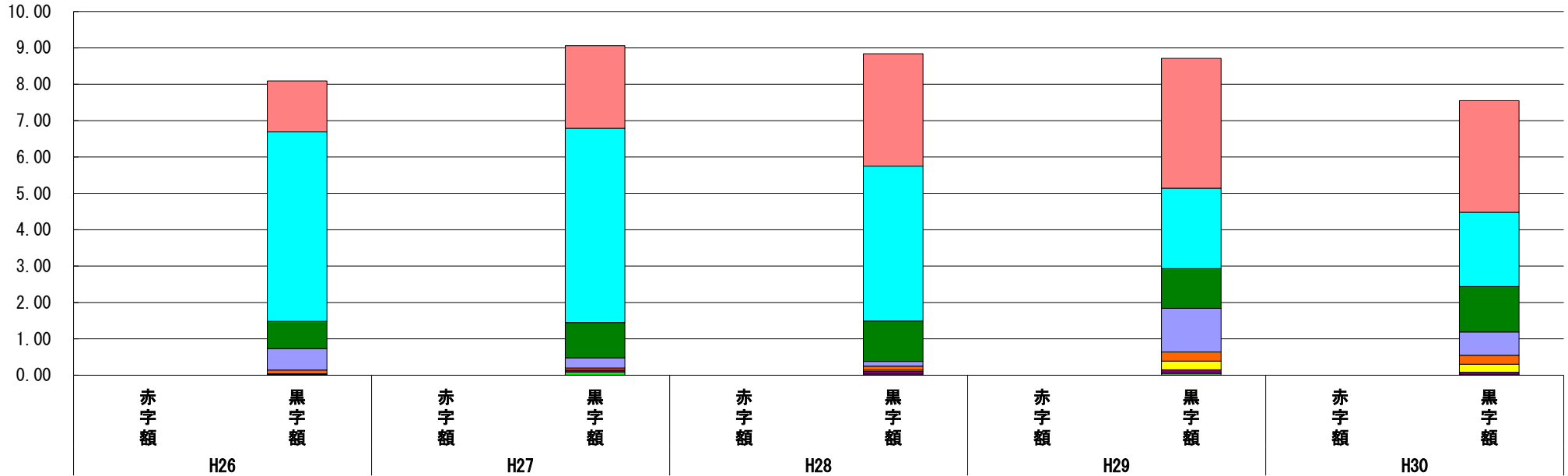
基金に依存しない財政運営を行うことが当面の課題となっており、そのためには、コンパクトで身の丈に合った歳出構造を構築し、限られた財源で最大の効果を上げる体制づくりを行っていくとともに、臨時的な財政需要に対応できるように、基金残高の安定的な確保に努め、健全な財政運営を行っていくことが重要である。

## (8) 連結実質赤字比率に係る赤字・黒字の構成分析（市町村）

平成30年度

青森県深浦町

標準財政規模比（％）



標準財政規模比（％）

会計	年度	H26	H27	H28	H29	H30
水道事業会計		1.40	2.27	3.09	3.57	3.07
一般会計		5.21	5.34	4.26	2.21	2.04
介護保険特別会計		0.75	0.97	1.11	1.09	1.25
国民健康保険事業特別会計（事業勘定）		0.59	0.28	0.13	1.20	0.64
国民健康保険事業特別会計（直診勘定）		0.10	0.06	0.11	0.25	0.25
後期高齢者医療特別会計		0.00	0.00	0.03	0.24	0.22
訪問看護ステーション特別会計		0.02	0.05	0.08	0.10	0.06
下水道事業特別会計		0.02	0.09	0.03	0.05	0.02
その他会計（赤字）		-	-	-	-	-
その他会計（黒字）		-	-	-	-	-

### 分析欄

平成30年度決算において連結実質赤字は発生しておらず、各会計の実質収支の合計は340百万円の黒字となった。

連結実質収支全体の主な割合を占める一般会計等では、平成19年度以降赤字は発生しておらず、毎年着実に一定の黒字を維持している。

国民健康保険事業特別会計（事業勘定・直診勘定）、後期高齢者医療特別会計、介護保険特別会計、訪問看護ステーション特別会計においては、給付費の増加を見据え、保険料の適正化と併せて、一般会計からの適切な繰出しを行ってきた結果、現在まで赤字は発生していない。

下水道事業特別会計においては、繰出基準に基づく繰出金のほか、料金収入で賄えない汚水維持管理費の補てんを目的とした基準外繰出しを実施してきた結果、毎年わずかな黒字を計上している。

企業会計である水道事業会計においては、平成24年度の事業開始当初に発生した累積欠損金を解消するため、損益勘定に対する基準内繰出しを優先的に行ってきた結果、毎年度純利益を計上し、累積欠損金の圧縮が進んでいる。

これらの結果、全会計ともに黒字となっており、今後も各会計の黒字を堅持するため、従来からの行財政改革と併せて、公営事業では料金の適正化と一般会計からの適切な繰出しを継続し、健全な財政運営に努める。

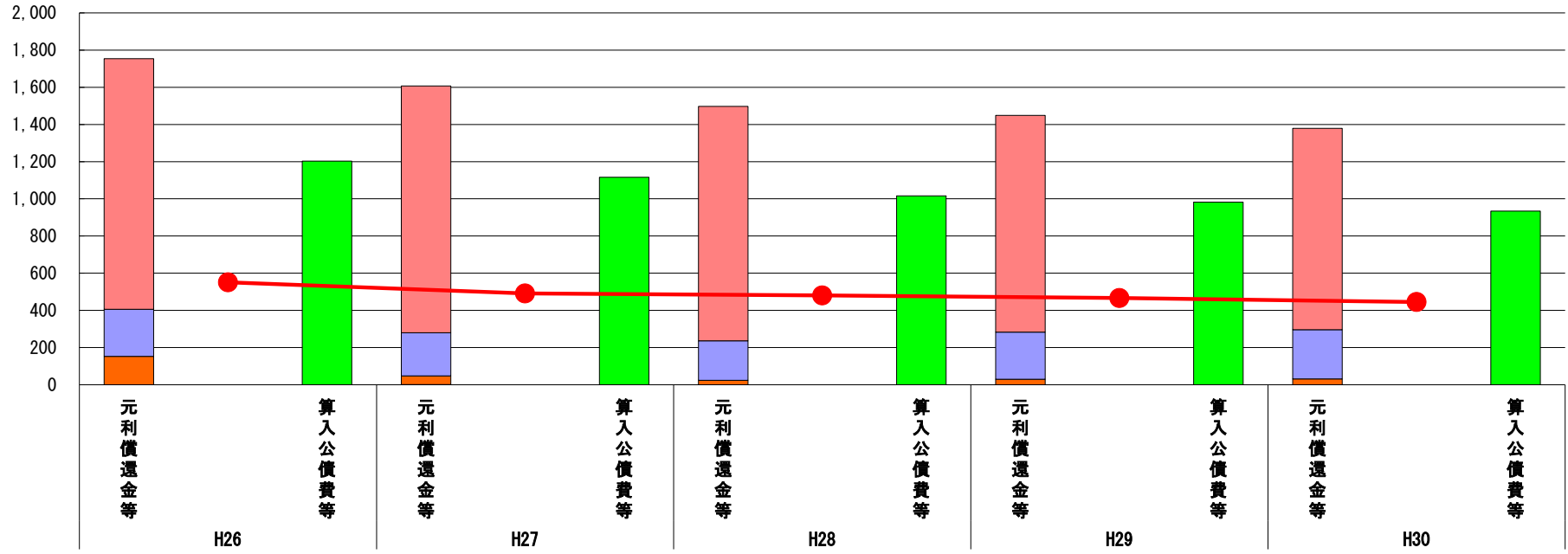
※平成31年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく連結実質赤字比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(9) 実質公債費比率（分子）の構造（市町村）

平成30年度

青森県深浦町

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H26	H27	H28	H29	H30
元利償還金等 (A)	元利償還金		1,348	1,327	1,261	1,166	1,083
	減債基金積立不足算定額※2		-	-	-	-	-
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額		-	-	-	-	-
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金		253	232	212	253	265
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等		153	47	24	30	31
	債務負担行為に基づく支出額		0	0	0	0	0
	一時借入金の利子		0	1	0	0	0
算入公債費等 (B)	算入公債費等		1,203	1,116	1,016	982	934
(A) - (B)	実質公債費比率の分子		551	491	481	467	445

分析欄

平成30年度決算における実質公債費比率は12.7%となり、平成19年度の算定開始以来年々減少している。分子の主要素である元利償還金は、町債の新規発行抑制や繰上償還などの公債費対策により、年々に減少している。また、元利償還金の減少に伴い、算入公債費等も緩やかに減少しているが、分子全体としての公債費負担は年々着実に軽減されている。公営企業債の元利償還金に対する繰入金は、下水道事業をはじめ建設事業が継続していることなどから増加しているが、あと数年で事業の終了が見込まれており、今後大幅な増加はない見込みである。組合等の元利償還金に対する負担金等は、当面の間は概ね横ばいとなる見込みである。

※1 平成31年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(参考)

※2 減債基金積立状況等		年度	H25末	H26末	H27末	H28末	H29末
減債基金積立状況等	減債基金残高(注)						
	減債基金積立相当額						

分析欄

該当なし

(注) 減債基金残高のうち、実質公債費比率の算定に用いる満期一括償還地方債の償還の財源として積み立てた額に係るもののみを記入。

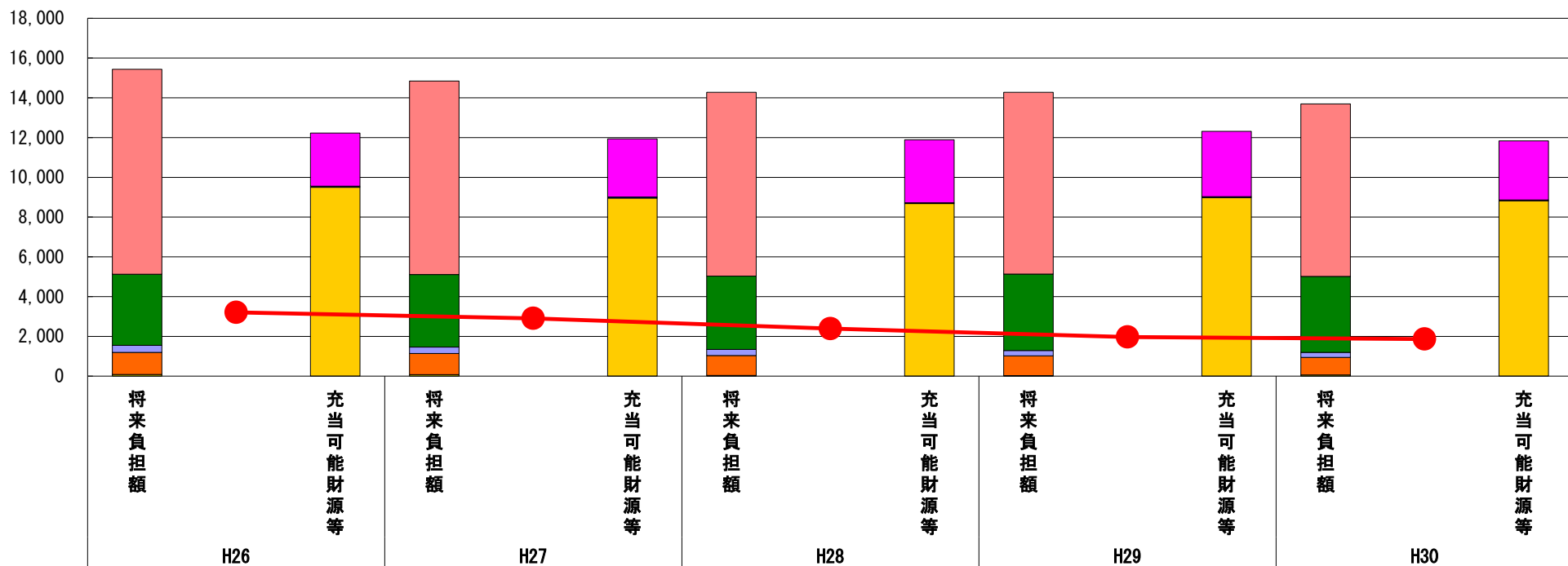
減債基金積立金の年度を超えた一般会計又は特別会計への貸付額は控除して記入。

# (10) 将来負担比率（分子）の構造（市町村）

平成30年度

青森県深浦町

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H26	H27	H28	H29	H30
将来負担額 (A)	一般会計等に係る地方債の現在高		10,307	9,736	9,243	9,143	8,679
	債務負担行為に基づく支出予定額		-	-	-	-	-
	公営企業債等繰入見込額		3,576	3,648	3,691	3,843	3,823
	組合等負担等見込額		361	320	302	275	254
	退職手当負担見込額		1,106	1,063	1,006	989	881
	設立法人等の負債額等負担見込額		84	77	32	28	57
	うち、健全化法施行規則附則第三条に係る負担見込額		-	-	-	-	-
	連結実質赤字額		-	-	-	-	-
	組合等連結実質赤字額負担見込額		-	-	-	-	-
充当可能財源等 (B)	充当可能基金		2,675	2,928	3,161	3,288	2,965
	充当可能特定歳入		53	50	46	43	38
	基準財政需要額算入見込額		9,499	8,959	8,677	8,981	8,826
(A) - (B)	将来負担比率の分子		3,206	2,906	2,390	1,967	1,865

## 分析欄

平成30年度決算における将来負担比率は52.5%となり、平成19年度の算定開始以来年々減少している。

分子の主要素である一般会計等の地方債現在高は、町債の新規発行抑制や繰上償還などの公債費対策により年々減少している。地方債残高の減少に伴い、充当可能財源の基準財政需要額算入見込額も減少傾向にあるが、全体的な将来負担（比率の分子部分）は年々着実に軽減されている。

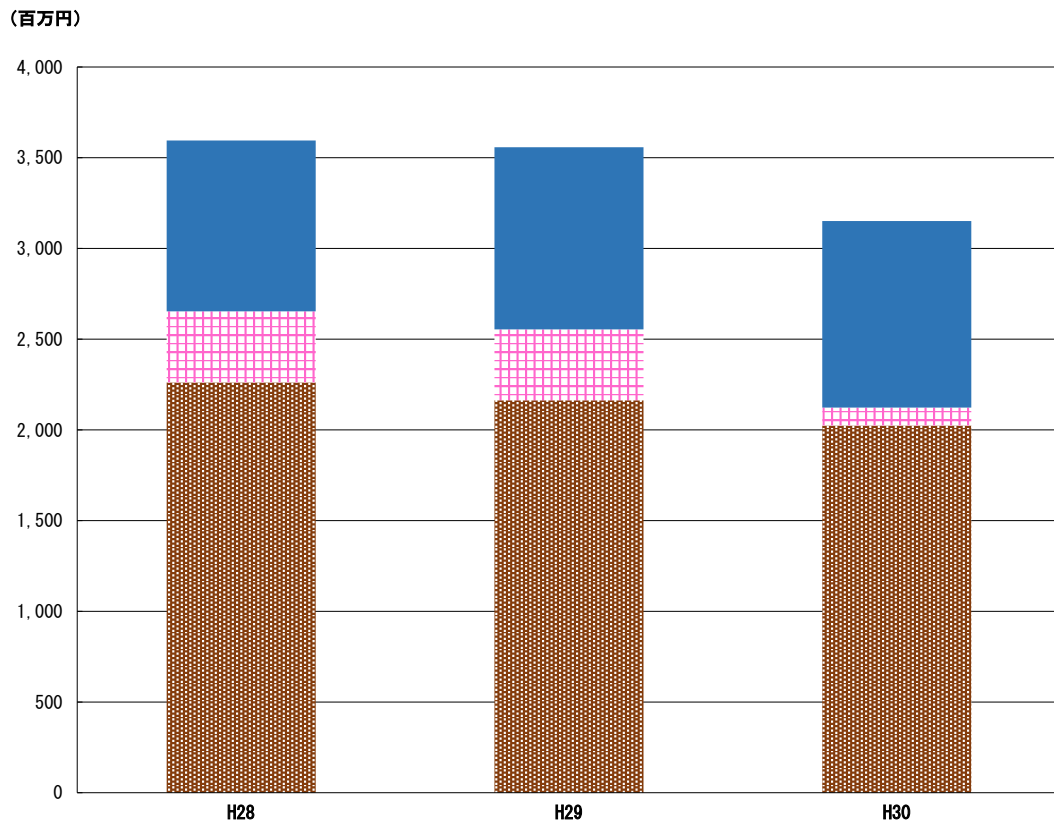
その他の将来負担見込みも概ね横ばいから減少傾向となっており、今後も関係団体の起債や債務残高の減少により、当面の間緩やかに減少していくと見込まれる。

充当可能財源である充当可能基金は、年々着実に増加しており、将来負担を圧縮する重要な財源となっているが、平成29年度以降は、地方交付税における合併算定替の段階的縮小に伴う財源不足を財政調整基金の取崩しにより確保しており、今後の地方交付税の動向によっては減少に転じることも想定される。

今後においても将来負担を軽減するため、起債の着実な償還と併せて、行財政改革を推進し、基金残高を安定的に確保するとともに健全な財政運営に努める。

※平成31年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

# (11) 基金残高（東日本大震災分を含む）に係る経年分析（市町村）



区分	年度	H28	H29	H30
財政調整基金		2,262	2,163	2,024
減債基金		391	391	99
その他特定目的基金		942	1,004	1,028
合併振興基金		747	633	561
深浦町公共施設等総合管理基金		50	220	290
深浦町地域医療対策基金		100	100	100
深浦町ふるさと納税寄附金基金		15	24	51
霊園整備基金		20	20	20
基金残高合計		3,595	3,558	3,151

## 平成30年度 青森県深浦町

**基金全体**

(増減理由)

- 財政調整基金に平成29年度決算剰余金60百万円の積立てを行い、また、公共施設の維持補修費等に係る将来的な財政需要の備えとして、公共施設等総合管理基金に70百万円の積立てを行った一方、普通交付税の減等に伴う財政調整基金200百万円の取崩しと、合併振興事業の財源として合併振興基金72百万円の取崩しを行ったこと、繰上償還を実施したため292百万円の取崩しを行ったこと等により、基金全体として407百万円の減となった。

(今後の方針)

- 財政調整基金については、積極的な歳出改革による取崩しの抑制を行うことが必要である。また、将来的には、災害等の備えとして、一定規模以上の基金残高を維持できるよう努めることとしている。

**財政調整基金**

(増減理由)

- 平成29年度の決算剰余金60百万円を積立てたことによる増。
- 普通交付税の合併算定替による特例措置の段階的縮減や公共施設の老朽化対策等への対応のため、200百万円の取崩しを行ったことによる減。

(今後の方針)

- 平成17年度の町村合併以降は、決算状況を踏まえ、災害や合併算定替の適用期限終了への備えとして、可能な範囲で財政調整基金の積立てを行ってきたが、平成28年度以降は、普通交付税額の減少を主な要因とした取り崩しを実施しており、当面は継続する予定である。

**減債基金**

(増減理由)

- 繰上償還の実施に伴う、292百万円の取崩しを行ったことによる減。

(今後の方針)

- 平成30年度決算における実質公債費比率は早期健全化基準を下回る12.7%となっているが、経常収支比率においては、公債費分が23.9%となっており、類似団体の19.0%と比較すると高い水準であることから、今後、公債費負担の平準化、適正化を目的として繰上償還を実施することとした場合には、その財源として減債基金を活用する予定である。また、決算状況を踏まえ、必要に応じて、積立てを行う予定である。

**その他特定目的基金**

(基金の使途)

- 合併振興基金：合併に伴う地域の進行及び住民の一体感醸成を推進する事業の財源に充てる。
- 公共施設等総合管理基金：公共施設等を総合的に管理するために要する経費（整備、維持補修、解体処分等）の財源に充てる。

(増減理由)

- 合併振興基金：合併振興事業の財源として72百万円の取崩しを行ったことによる減。
- 公共施設等総合管理基金：今後、施設の老朽化に伴う維持補修費等の増加が見込まれることから、70百万円の積立てを行ったことによる増。

(今後の方針)

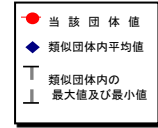
- 合併振興基金：合併振興事業の財源として、毎年度継続して取崩しを行っていく予定である。
- 公共施設等総合管理基金：公共施設の維持補修費等の内容に応じて、取崩しを行う予定である。また、決算状況を踏まえ、必要に応じて、積立てを行う予定である。

# (12)市町村公会計指標分析／財政指標組合せ分析表

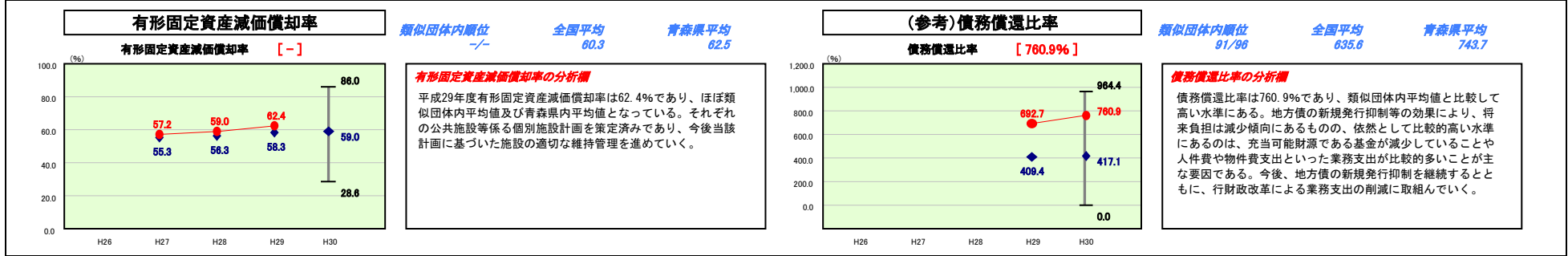
平成30年度

青森県深浦町

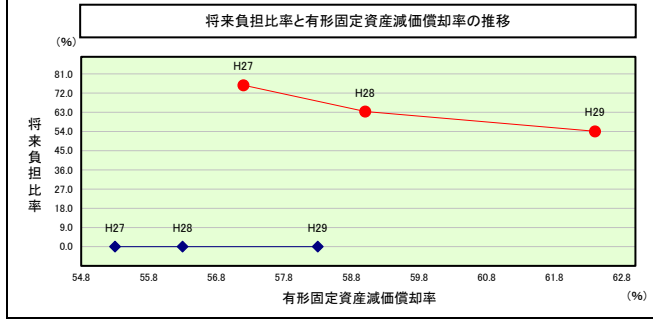
人口	8,228	人(H31.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	8,205	人(H31.1.1現在)	連結実質赤字比率	-	%
面積	488.90	k㎡	実質公債費比率	12.7	%
歳入総額	7,490,823	千円	将来負担比率	52.5	%
歳出総額	7,391,390	千円	市町村類型	H26 II-O H27 II-O H28 II-O	
実質収支	91,641	千円	(年度毎)	H29 II-O H30 II-O	
標準財政規模	4,474,732	千円			
地方債現在高	8,678,507	千円			



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。  
 ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。  
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成30年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。  
 ※ 平成31年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体毎の決算に基づく健全化判断比率等を算出していない団体については、債務償還比率、実質公債費率、将来負担比率のグラフを表記しない。



## 将来負担比率及び有形固定資産減価償却率の組合せによる分析

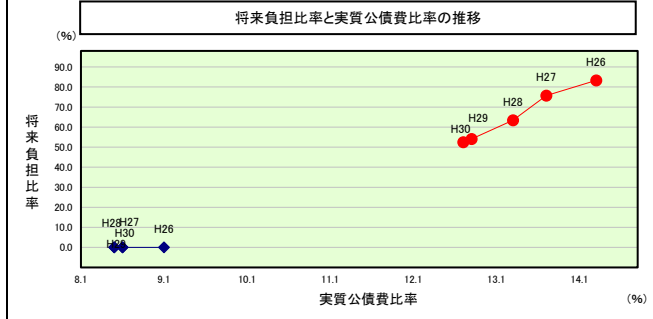


**分析欄**  
 平成29年度において、有形固定資産減価償却率はほぼ類似団体内平均値及び青森県内平均値となっている一方で、将来負担比率は類似団体内平均値と比較して高い水準にある。地方債の新規発行抑制等により将来負担比率は減少していく見込みであるが、各施設の老朽化が進んでおり、有形固定資産減価償却率は上昇する見込みである。公共施設等総合管理計画に基づき、今後、老朽化対策に積極的に取り組んでいく。

(参考)

		H26	H27	H28	H29	H30
当該団体値	将来負担比率		75.7	63.4	54.1	
	有形固定資産減価償却率		57.2	59.0	62.4	
類似団体内平均値	将来負担比率		0.0	0.0	0.0	
	有形固定資産減価償却率		55.3	56.3	58.3	

## 将来負担比率及び実質公債費比率の組合せによる分析



**分析欄**  
 将来負担比率、実質公債費比率とも類似団体内平均値と比較して高い水準にあるが、地方債の新規発行抑制等の効果により、地方債残高の減少とともに元利償還も減少してきており、両比率とも減少傾向にある。今後も地方債の発行抑制を継続し、公債費の適正化に取り組んでいく。

(参考)

		H26	H27	H28	H29	H30
当該団体値	将来負担比率	83.3	75.7	63.4	54.1	52.5
	実質公債費比率	14.3	13.7	13.3	12.8	12.7
類似団体内平均値	将来負担比率	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実質公債費比率	9.1	8.6	8.5	8.5	8.6



# (13)-1市町村施設類型別ストック情報分析表①

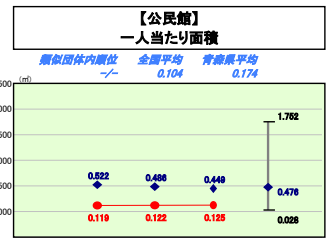
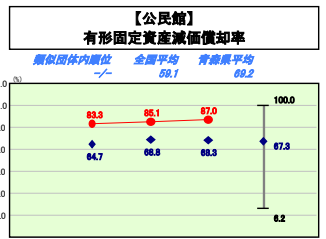
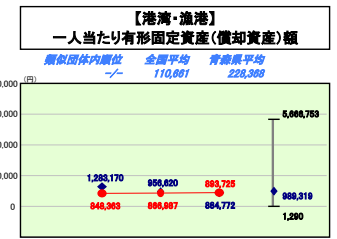
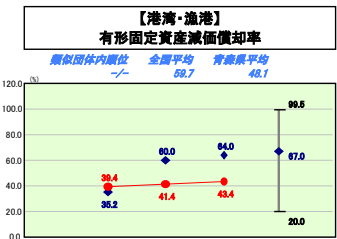
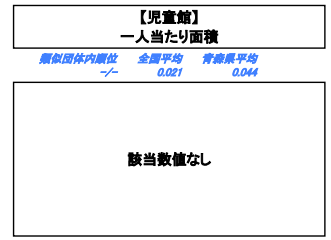
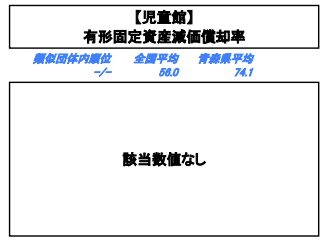
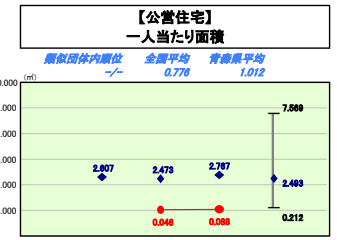
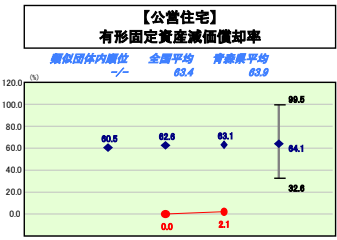
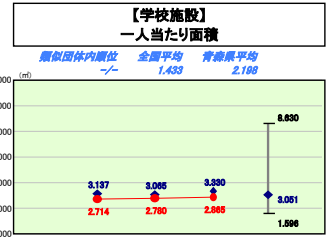
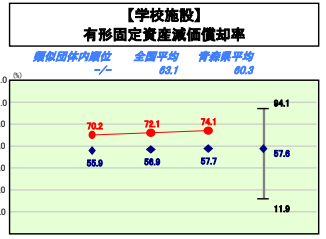
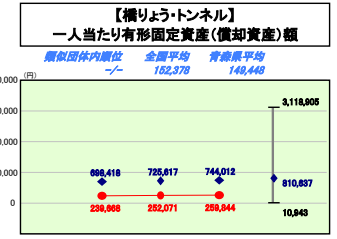
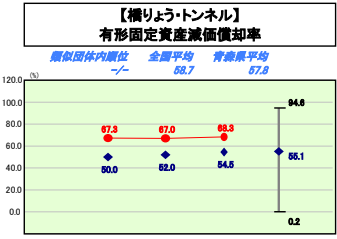
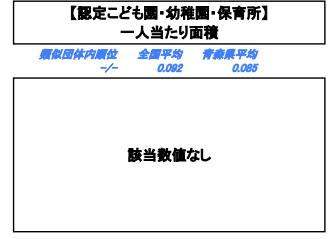
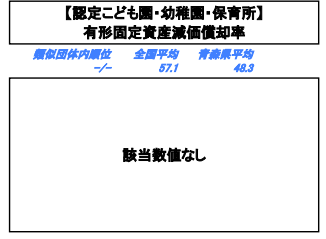
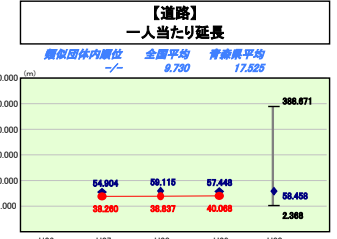
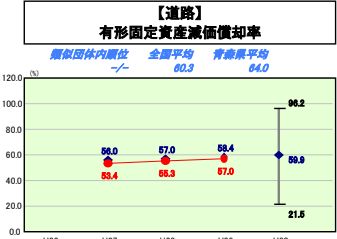
平成30年度

青森県深浦町

人口	8,228	人(831.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	8,206	人(831.1.1現在)	連続実質赤字比率	-	%
面積	498.90	km <sup>2</sup>	実質公債費比率	12.7	%
人口密度	7,400.823	人/km <sup>2</sup>	特長負担比率	52.5	%
歳入総額	7,391,390	千円	市町村費率	H28 II-O H27 II-O H28 II-O	
歳出総額	91,841	千円	(年度毎)	H29 II-O H30 II-O	
実収支	4,474,732	千円			
標準財政規模	8,678,507	千円			
地方債償還高					

- 当該団体値
- ◆ 類似団体内平均値
- ┌ 類似団体内の最大値及び最小値

※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。  
 ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に記載されている人口に基づいている。  
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成30年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



**施設情報の分析**  
 類似団体内平均値と比較して特に有形固定資産減価償却率が高くなっている施設は、橋りょう・トンネル、学校施設、公民館である。  
 橋りょう・トンネルについては、整備後30年以上経過した橋りょうが大半を占め、老朽化が進んでおり、今後計画的な更新及び補修等を行い、老朽化対策に取り組むこととしている。  
 学校施設については、小学校が有形固定資産減価償却率59.5%、中学校が有形固定資産減価償却率91.2%となっており、特に中学校の有形固定資産減価償却率が高くなっている。  
 公民館については、有形固定資産減価償却率が87.0%と特に高い水準にあり、老朽化が進んでいる。  
 それぞれの公共施設等に係る個別施設計画を策定済みであり、今後当該計画に基づき施設の統合を含め、維持管理の適正化に努めていく。

# (13)-2市町村施設類型別ストック情報分析表②

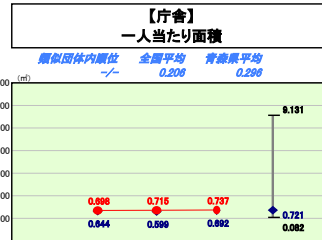
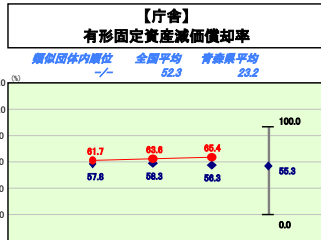
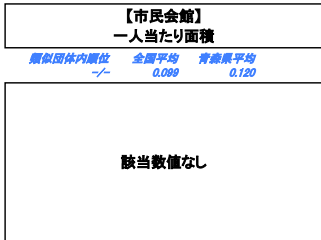
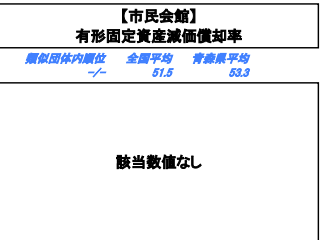
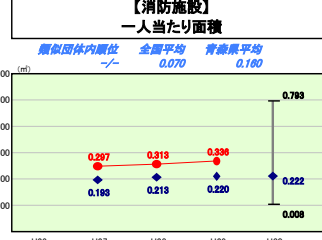
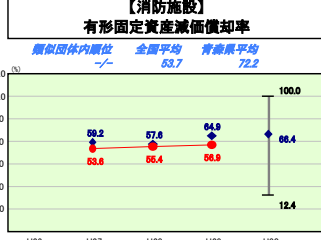
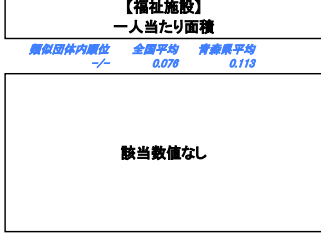
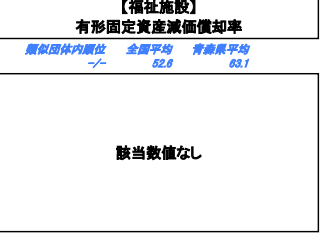
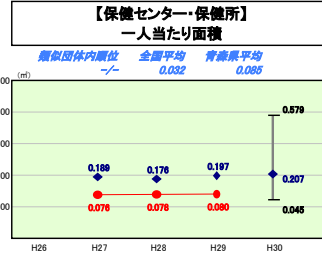
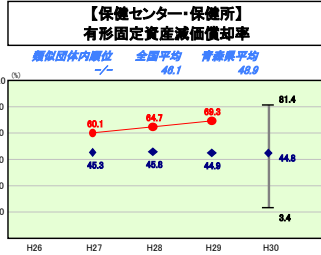
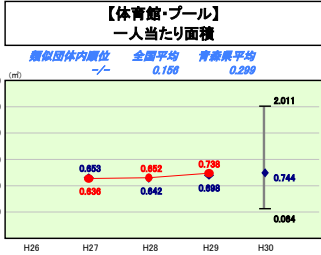
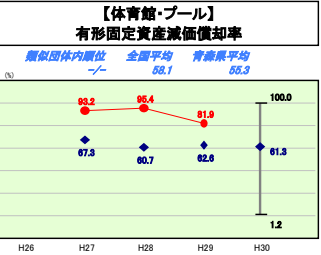
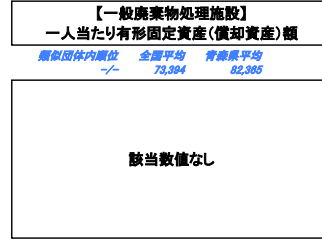
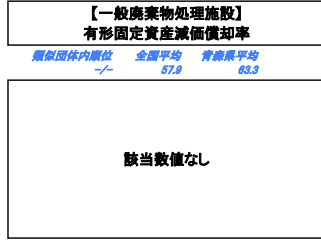
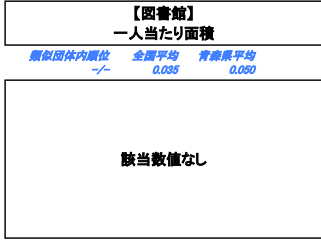
平成30年度

青森県深浦町

人口	8,228 人(81.1.1現在)	実質赤字比率	- %
うち日本人	8,206 人(81.1.1現在)	連結実質赤字比率	- %
面積	488.90 km <sup>2</sup>	実質公債費比率	12.7 %
歳入総額	7,490,823 千円	将来負担比率	52.5 %
歳出総額	7,391,390 千円	市町村別選	H26 II-O H27 II-O H28 II-O
実収支	91,641 千円	(年度毎)	H29 II-O H30 II-O
標準財政規模	4,474,732 千円		
地方債現在高	8,678,507 千円		



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同グループに属する団体を類似団体と言う。  
 ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に記載されている人口に基づいている。  
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成30年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



**施設情報の分析値**

類似団体内平均値と比較して特に有形固定資産減価償却率が高くなっている施設は、体育館・プール、保健センター・保健所である。  
 体育館・プールについては、耐用年数をすでに経過した施設もあり、老朽化が進んでいる。それぞれの公共施設等に係る個別設計計画を策定済みであり、今後当該計画に基づき施設の続命を含め、維持管理の適正化に努めていく。  
 保健センター・保健所については、有形固定資産減価償却率が69.3%となっており、類似団体内平均値と比較して高い水準にあるが、町中心部に機能を移転するため、平成30年度に新しい施設を建設する予定としている。  
 今後は、維持管理費用の増加に留意しつつ、町の健康増進対策に積極的に取り組んでいく。